

## 4月14日二次回答集中日へ向けて各単組旺盛なたたかい！

コープいしかわ労組 夏季一時金昨年実績を引き出す！ 4月7日

正規：1.8ヶ月・475,961円（昨1.8ヶ月・465,102円）

定時：0.5ヶ月・40,385円

メイト、キャリア：0.25ヶ月・33,787円（昨0.25ヶ月・33,744円）

シフター、エルダー、シニア、ヘルパーにはゼロ回答

単組では、早期に予算どおりの前年実績を出したことは評価しつつも、時給労働者への低い月数回答に怒りを感じています。

新年度は大量退職による欠員スタートで、現場労働実態はすさまじいものになっている。その労働者の声に理事会は耳を傾けなければいけないのに、とにかく早く春闘を終えたいようです。

先日の団交でも冒頭、専務が震災支援の募金呼びかけと平常勤務で復興支援するため、この回答で速やかに妥結をお願いしたい。と頭をさげましたが私たちも生活がありますので、そんなに簡単にはいきません。として今後たたかいを強めていく決意です。

### 京都統一・事業連合支部団体交渉 4月5日

労組側18人の参加で行いました。交渉は、人事・退職金制度問題、京阪神北陸機能統合問題では、説明の不十分さ、大阪への出向についての就労説明、パート雇用確保、大阪へ異動するパートへの移籍解決金・退職特別慰労金の増額などを中心におこないました。

これに対し理事会側は、「人事制度は賃下げが目的ではないが全員が下がらない制度設計はできない」「機能統合は何故おこなうのかは説明してきた」「但し、事務所配置や人員配置などは情報提供が遅れ配慮が不足したことはお詫びする」など答弁しました。

#### (労組員8人が発言)

「働いている人を動かすことへの配慮が無さ過ぎる」「理事会としてパートの雇用責任を果たしてほしい。高野事務所の定員枠の関係で“抽選”でとかいう話を聞いたが、雇用を何だと考えているのか」「大阪での就労条件などが明らかにされていない」「機能統合は必要と思うが、そこに向けて辛い思いもしながらがんばっている職員をみんな少しでも良い条件で働かせてほしい」「お金を稼ぐだけでなく生協で働ける喜びを感じてやってきた。生協スピリッツがあって普通以上にがんばって仕事をやり遂げてきた」「人事制度はアンバランスを改善してほしい。動かしやすい人だけ動かして、長い人は20年以上同じ職場にいるとか、ある部署では狭いのに店長職が2人いる」これら労組員の発言をうけて、労働組合では再回答を求めました。



#### (理事会回答)

「正規で大阪勤務者には早急に説明会をおこなう」「すべてのパート職員を現行どおりでは雇用できないが雇用創出努力をおこなう」「機能統合では人減らし・合理化だけが目的ではないので必要な仕事は残す」「移籍するパートの移籍解決金・退職特別慰労金の増額について応えたい。現在1ヶ月+1ヶ月で提示しているが、1ヶ月+1.5ヶ月としたい。また、時給1,000円のみなさんで、差額3年分で提示しているが、4年分としたい。」労組は不十分な到達として継続交渉を通告して終わりました。